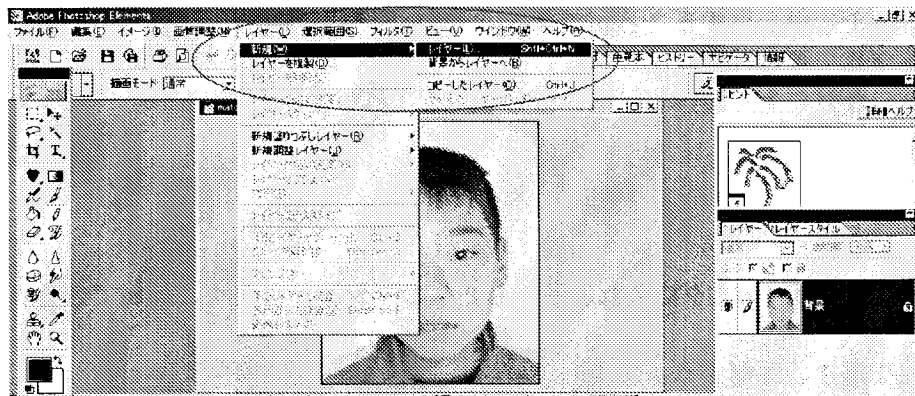


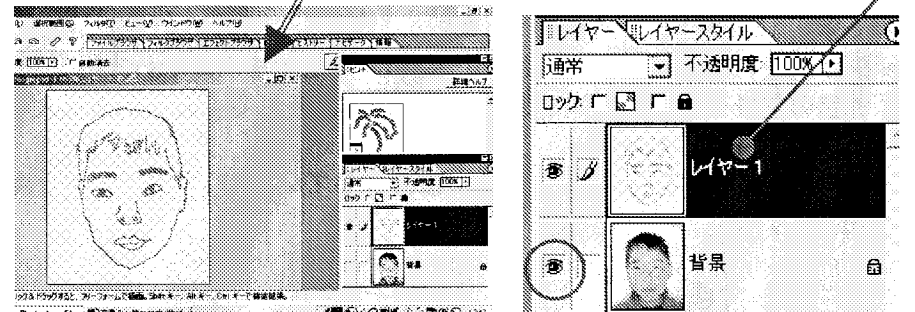
➤ 子どもたちが行った活動をマニュアルにしてみました。(画像は子どもの作品です)



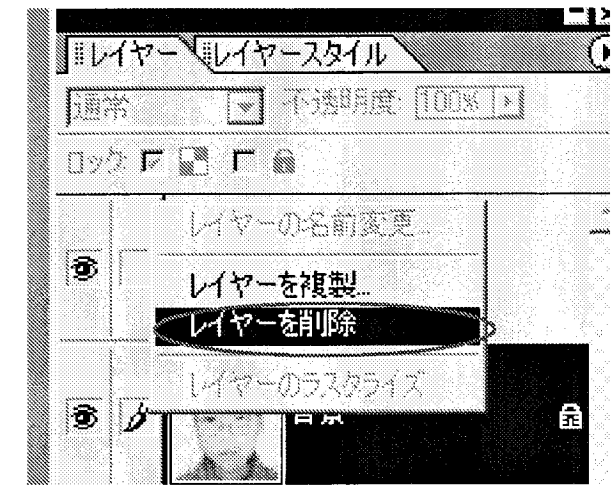
1. もとの画像をフォトショップ・エレメンツで開き、「新規」→「レイヤー」で新しいレイヤーを重ねる。(写し取りたいものの上に透明シートを重ねるようなもの)



2. 新しくできたレイヤー上でペンタブレットやマウスを使って元の画像をトレースする(なぞる)新しいレイヤーは透明。写真に透明なシートを重ねてマシクでなぞるといイメージです。



3. レイヤー窓の「表示切り替え」ボタンを押して背景を見えなくすると、現在の似顔絵の状況が確認できます。もう一度押すと表示されます。気に入らなければ何度でも消して書き直してできます。



4. なぞる作業が終わったら、背景レイヤーを削除します。Winならば、背景レイヤーで右クリック→削除 または、レイヤーを選択してメニューの「レイヤー」→「レイヤーの削除」でもレイヤーを削除できます。
5. できた画像に「別名で保存」でファイル名をつけて保存すれば、オリジナル似顔絵の完成!
6. レイヤーを削除せずに新しいレイヤーのみを保存する方法もあります。保存したいレイヤーのみを表示して「別名で保存」を選択すれば、その画像のみが保存されます。
7. この画像に色を塗ったり、文字を入れたりしたあとで適度に縮小すればオリジナルのシンボルマーク(スタンプ)として、文書に貼り付けたりできます。また、この方法を応用すれば、オリジナル地図を作ったりもできます。

いろいろなアイデアがあると思いますので、「こんなことに使えるかも。」というひらめきがあったら、是非お教え頂けないでしょうか?

【この活動で期待できること】

- 自分をしっかりと見つめ、考える機会にすることができる。
- 友達を見つめ、新しい面を発見できる（可能性もある）
- 顔を描くことで、目、鼻、口などをよく観察し、描き方を考えることができる。
- コンピュータ・スキル

【実際の活動(3時間)】

- 写真を撮影する。LAN 上の任意のフォルダに入れ、子どもたちのマシンから開くことができるようにする。
- マニュアルの手順で似顔絵を描き、保存する。
- 校内 web 上で公開し、作品を見せ合う。

【この活動を通して】

- 自分をしっかりと見つめるというところまでいくことができなかつたが、児童が顔を見つめることで自分を意識することができたと思う。
- 友達の作品をしっかりと見るすることができた。絵を描くのが苦手な子がみんなから「うまい」とほめられるシーンがあった。
- フォトショップエレメンツを初めて使ったので、レイヤーのイメージがわからず、背景レイヤーに直接書き込んでしまった子どももいた。友達同士で教え合いながら悪戦苦闘する場面があった。
- 今回の実践にあたって、WACOM 社よりペンタブレット FAVO を供給いただいた。子どもたちが自分たちでコンピュータにセットし、ドライバをインストールして使用した。線をなめらかに描けるところがよかった。しかし、コンピュータに慣れている子どもの中には、マウスの方が使いやすいと、そちらを選んだ者もいた。
- 夏の D-Project ポスターセッションで、プリントアウトして使ったパネルを教室に掲示しているが、本学級の子どもはもちろん、教室の前を通る他の学年の児童、先生が作品を見てくれている。大判プリンターがあれば…。
- 現在、デジタルポートフォリオ「〇〇の気持ち」プロジェクトに参加しているが、「顔」という点で生かせるものがあればと期待している。



子どもたちの作品
(3年生全クラス)

